大月町 議会だより

103号

11月臨時会
12月定例会

令和3年2月1日発行　高知県大月町議会

12月定例会

令和２年12月第７回大月町議会定例会は12月10日から15日までの会期で開催、条例２件、補正予算８件、諮問（人事）２件、契約１件の計13件が提出され全議案を承認・可決しました。他に議員発議により議会改革特別委員会を設置しました。

もくじ

P 2　12月定例会
P 4　11月臨時会
P 5　委員会活動
P 6　一般質問
P12　こんにちは

令和２年度補正予算

〈全員賛成〉

○一般会計
補正額　１億2324万円の増額
補正後　69億2093万円
【主な内容】
- 災害復旧工事請負費　（6150万円）
- 空家活用シェアオフィス事業　（1800万円）
- ふるさと応援基金積立　（5000万円）
- 新型コロナ感染症漁場料補助金　（187万円）
- 人事院勧告に伴う人件費の調整など　（△1984万円）

○国民健康保険特別会計
補正額　210万円の増額
補正後　8億2494万円
【内容】
- 人事院勧告に伴う人件費の調整など　（210万円）

○水道特別会計
補正額　21万円の減額
補正後　3億9859万円
【内容】
- 工事請負費　（325万円）
- 公有財産購入費　（△325万円）
- 人事院勧告に伴う人件費の調整など　（△21万円）

令和2年度　12月補正予算

会計名		補正額	総額
一般会計		1億2324万円	69億2093万円
特別会計	特別養護老人ホーム	△146万円	3億6881万円
	国民健康保険	210万円	8億2494万円
	水道	△21万円	3億9859万円
	介護保険	309万円	8億9657万円
	後期高齢者医療	△57万円	9855万円
	給与等集中処理	△2063万円	9億4929万円
病院事業会計		△1035万円	6億4520万円

表紙写真によせて

太平洋を望み
夢を釣る少年
「ぼくは釣りが大好き！」

○特別養護老人ホーム
補正額　146万円の減額
補正後　3億6881万円

【内容】
- 介護サービス費（医薬品・消耗品）　（170万円）
- 人事院勧告に基づく人件費の調整　（△316万円）

特別養護老人ホーム「大月荘」

○介護保険特別会計
補正額　309万円の増額
補正後　8億9657万円

【内容】
- 介護保険システム改修料　（123万円）
- 地域支援事業費　（99万円）
- 人事院勧告に伴う人件費の調整など　（87万円）

○後期高齢者医療特別会計
補正額　57万円の減額
補正後　9855万円

【内容】
- 人事院勧告に伴う人件費の調整など　（△57万円）

○大月病院事業会計
補正額　1035万円の減額
補正後　6億4520万円

【内容】
（医療収支）
- 給与改定に伴う給与費　（△900万円）

（医療外収支）
- 貯水槽強靭化整備を減額　（△847万円）
- 発電用キュービクル修繕工事　（370万円）
- 非常用発電装置整備　（253万円）
- 備品購入費ほか　（89万円）

契約
〈全員賛成〉

○30災(繰)第1248号町道一切安満地海岸線道路災害復旧工事請負契約の変更

【内容】
- 契約金額
  - 増額　1322万2000円
  - 変更後金額　7119万2000円
- 契約の相手　久米建設株式会社
  大月町弘見1604番地1
- 工期　令和2年3月14日から
  令和3年1月27日まで
- 変更理由　法面掘削において岩盤が露出、法面の保護工の植生マットを土砂用から岩盤用に変更。

設計変更された法面工事

諮問（人事）〈全員賛成〉

○人権擁護委員候補者の推薦

中平（なかひら）　眞理（まり）　氏（平山）

新谷（にいや）　早苗（さなえ）　氏（西泊）

条例〈全員賛成〉

○大月町議会議員及び大月町長の選挙における選挙用ポスターの作成の公営に関する条例の制定

【内容】

- 公職選挙法の改正に伴い、町村の議会議員及び町長の選挙用ポスターの作成費用を公費負担とする。
- 施行日　令和2年12月12日

○大月町地域優良賃貸住宅の設置及び管理に関する条例の一部改正

【内容】

- 弘見地区に建設中の大月町地域優良賃貸住宅弘見第2団地を新たに追加し、家賃月額の改定と家賃の減額等の規定を新たに加える。

  弘見第2団地
  住所…大月町弘見1566番地2
- 施行日　令和3年4月1日

完成間近の弘見第２団地

11月臨時会

令和2年11月第6回大月町議会臨時会は11月26日の会期1日で開催、執行部から提出された条例改正案1件を可決しました。

条例〈全員賛成〉

○大月町一般職の職員の給与に関する条例の一部改正

【内容】

- 国の基準により減額。

  令和2年度の期末手当の計算比率
  職員は100分の130を100分の125とする。
  再任用職員は100分の72・5とする。

  令和3年度からの期末手当の計算比率
  職員は100分の130を100分の127・5とする。
  再任用職員は100分の72・5とする。

委員会報告

○特別委員会の設置

名　　称　議会改革特別委員会
設置根拠　地方自治法109条及び委員会条例第5条
目　　的　議員の意識改革・議会改革、住民の命とくらしを守ること、地場産業の振興、教育、医療、介護、福祉、文化等を充実させ、より豊かな大月町をめざして取り組む。
委員の定数　9名（議長を除く全議員）
調査期間　調査終了まで

◎第1回委員会（令和2年12月15日開催）
- 委員長　安岡　邦彦　議員
- 副委員長　依岡　一生　議員

人々の暮らしを豊かに

これまでの議会改革の内容

平成25年４月以降

- 平成25年より１年間に10地区、３年間で全30地区の議会報告会を開催し、実情と住民の声を要望・改善点として執行部に提示。
- 議会一般質問の形態「一括質問」に「一問一答」を追加。（平成27年３月）
- 平成29年より１年間に10地区、３年間で全30地区の議会報告会を開催し、実情と住民の声を要望・改善点として執行部に提示。
- 緊急時に、大月町議会内に災害対策支援本部の設置を決定。（平成30年12月）
- 大月町議会一般質問の録音放送を開始。（令和元年９月）

大月町議会は、町の発展と町民の生活の安定に向け全力で取り組みます。
お気づきの点やご要望がありましたら議会事務局へご連絡ください。

次回定例会は**３月**の予定です。
12月定例会の傍聴者は**15名**でした。

傍聴・録音放送のお問い合わせは**議会事務局**までお願いします。
（電話：0880-73-1682）

安原　明彦 議員

教　育

GIGA（ギガ）スクール構想について

構想に基づいて取り組む／教育長

問　ＧＩＧＡスクール構想とは、文部科学省が打ち出した５年間の計画で、義務教育を受ける児童生徒のため、一人一台の学習用のパソコンと高速ネットワーク環境を整備するものである。校内高速ＬＡＮの整備の進捗状況について聞く。

濵﨑教育長　タブレットの整備については全ての児童・生徒・教員、予備機を含め３０１台の端末を２月の上旬に納入する予定です。校内ＬＡＮの整備については、小中学校の体育館や特別教室、多目的ホールなど学習活動などで利用が想定される場所全てに高速無線ＬＡＮの整備をする計画です。工事は、２月末に完了、３月にテスト運用を開始する予定です。

問　セキュリティ対策を問う。

濵﨑教育長　セキュリティ対策はクラウド型Ｗｅｂフィルタリングを導入することで、特定のサイトのみアクセスができるように制御し、有害なサイトへのアクセスをブロックすることもできます。

GIGAスクール構想のルーター

児童・生徒への端末をＷｉ－Ｆｉモデルとして選定し、整備を進めております。利用先での通信環境があれば、クラウド型Ｗｅｂフィルタリングを実施したうえで、家庭学習や校外授業など、どこでも利用が可能となるよう構築を進めています。各家庭において、Ｗｉ－Ｆｉ環境など通信環境が整ってないと回答している家庭も多くあります。そのような家庭でも使えるような状況にできるよう対策を取っていきたいと考えています。

問　コロナ禍の中、学校が休みになった場合、子どもたちの学習・指導・学びの保障にオンライン学習環境は早急に必要ではないか。

濵﨑教育長　令和２年度補正予算により、全

新しい時代の競技

eスポーツについて

今のところ考えてない／教育長

問　ｅスポーツとはコンピューターゲーム、ビデオゲームを使ったスポーツ競技のことである。２０２４年に開催予定のパリ五輪でもメダル種目として追加予定、各高校にクラブが誕生して高校日本一を決める大会も開催されている。子どもたちは大好きだと思うが、ｅスポーツの取り組みは考えているか。

濵﨑教育長　ｅスポーツを学校教育のスポーツとして取り組んでいく考えは今のところ全くありません。今後は国・県の動向により、学校及び保護者との協議を重ねていく必要があると考えております。保護者並びに子どもたちの要望等があれば、また検討していきたいとも思います。

ｅスポーツ

久米　里志 議員

防災・減災

早急な対応を

協議し整備していく／町長

問　必ず来ると言われる、南海トラフ大地震や津波からの住民の生命を守る避難道や避難所、避難施設などが不十分な地区がある。早急な対応を。

岡田町長　地区と協議し整備した避難道・避難所についてお答えします。話し合いから7年が経過し、高齢化、高齢化率も上がり、住民の実態も変わり、再度要望や見直し等の箇所がある地区には、危機管理課が出向いて協議し整備していきます。自主防災や避難訓練等も踏まえ、取り組んでいきます。

住民の移動

早い実現を

前向きに考える／町長

問　デマンドバス、まちなか連絡バスの実証運行計画の進捗状況は。

岡田町長　令和3年3月から4か月間の予定で実証運行を実施していきます。

問　町内に福祉介護タクシーが2業者でき、利用者に大変喜ばれている。しかし、経費が掛かり生活費に響くとの声を聞く。割引タクシー券などの補助はできないか。

岡田町長　高齢化が進み、バスの発着場所に行くにも大変困難な方が増えている状況です。前向きに考えていますが、資料が不足しています。町民福祉課と協議検討していきます。

大活躍のふくしタクシー

再生可能エネルギー発電設備

適切な設置・管理は

県とも協議／町長

問　大月町では再生可能エネルギー発電設備の適切な設置及び管理に関し、災害防止、生活環境の保全及び自然保護等に配慮した必要な事項を定めていないため、地域社会との調和が図られていない。条例の制定が必要ではないか。

岡田町長　事業者は、国・県による事業計画ガイドラインに沿って設置認可を受けています。

　直ちに条例を制定することではなく、ガイドラインに沿って県とも協議させていただきたいと考えます。

町内に多くできている太陽光パネル

浦木　秀雄議員

子育て支援条例

小中学校の給食費無償化は
令和3年度当初予算で示したい／町長

問　議会が提案した子育て支援条例案を積極的に取り組まなければならないという認識を持っているか。

岡田町長　子育て支援は喫緊の課題ですが、財政的な面も考慮しながら取り組んでいかなければならないと考えています。しかし、既存の子育て支援は、子育て支援計画においても、詳細な部分についても、ほとんどできていると思っています。

問　議会が提案した子育て支援条例案を条例として制定する考えはあるか。

岡田町長　この分野については、担当する教育委員会、町民福祉課、保健介護課と話し合い、既存の条例・規則・要綱等で対応できると考えています。条例を作る考えは持っていません。

問　条例案の1つ、小中学校の給食費無償化はどうするのか。

岡田町長　5月20日の子育て支援条例制定調査特別委員会で言いましたように、無償にするかしないかは、令和3年度の当初予算で明確に示したいと考えています。

問　議会が提案した子育て支援事業の残り4つ、①出産準備金交付事業、②チャイルドシート購入費補助事業、③高校生通学費等補助事業、④転入児童生徒等奨励金補助事業はどうなるのか。

岡田町長　この4つの事業は、保護者の方に辛抱していただいて、今の時点では予算計上しないということです。

待ち望まれる小中学校給食費無償化

宅地造成

宅地造成で町の活性化を
重く受け止める／町長

問　人口減少を食い止めるためにも、50戸から100戸規模の宅地造成をしてはどうか。

三原村の例を参考にして、人口増、地方交付税、購買力の増による町の活性化、高齢者の心の支えなどをふまえ、宅地造成の検討委員会設置を提言する。

岡田町長　議員の提案は、将来考えていかなくてはならないと考えています。1つの提案としてお伺いし、重く受け止めていきたいと考えています。

宅地造成の検討委員会の設置は、現在のところ考えておりません。

参考例：三原村の星ヶ丘団地

農業公社

官民連携
現時点では難しい／町長

野村　満久 議員

問　近隣の市町村には、農業公社や、障がい者の就労施設と連携し産業に繋がる取り組みを行い、非常に良い事例がある。町は現在、有望品目としてオリーブやグリーンパパイヤに補助金を出しているが、大月の食材を六次化に繋がるよう官民一体となった組織を立ち上げる考えはないか。

すくすく育つ
グリーンパパイヤ

岡田町長　中山間農業複合経営拠点としての取り組みは県と一緒に協議検討していますが、農業公社などの公的機関は現時点では難しいと考えています。また、六次化については今後生産量が増える事をふまえ考えたいと思います。

道の駅リニューアル

現場の声を
再度検討／町長

問　多機能拠点型として道の駅リニューアルを計画しているが、平成30年の災害、新型コロナウイルス等の影響で計画が非常に延び延びになっている。また、今の計画では現場の利便性や機能性が考慮されているとは思えないが、計画を見直す考えはないか。

機能的な道の駅に

岡田町長　基本計画から2年が経過し、社会情勢や法改正等により計画を検証する必要があると判断しました。本年度中に今一度現場の声を聴き、各種要件との整合性を図りながら細部を協議します。必要な経費を算出し、財政面を考慮したうえで実施の時期を判断したいと考えています。

災害対策

避難道改修
地区と協議／町長

大事な避難道

問　南海トラフ地震に備え避難道を整備しているが、日常的に落石があり通行が困難な状況になっている。このような状態では災害時に機能しない可能性があるが、ストーンガード等何らかの対策の考えはないか。

岡田町長　避難道については平成27・28年度そして平成30年7月の豪雨の後にも全線の点検をしました。

今後高齢化が進む中、議員が提案するような対応が取れるかという事も検討しなくてはなりません。一つ一つ改修には膨大な費用がかかるわけですが、地区と個別に協議していきたいと考えています。

中田　巌議員

森林環境譲与税

有効な活用について

適正な森林整備に／町長

問　２０１５年に国連が採択したＳＤＧｓにより「持続可能性」という言葉がクローズアップされてきている。大月町もこの持続可能な森林経営と管理、さらに持続可能な森林環境保全を理念とした林業を推進していくべきだと考えるが、町長の考えを聞く。

岡田町長　森林経営管理制度の創設により林業分野は大きく転換期を迎えています。そこで今後は、「育てる・収穫する・また植える」といった取り組みを推進して、数十年後を見越した森林の保全や持続可能な森林経営を維持していきたいと考えています。

豪雨に耐えた
地吉の作業道

問　平成31年3月から各都道府県と市町村に「森林環境譲与税」が導入されている。防災の観点からも、必要な場所に開設する作業道に係る費用や、適切な指導を受けるために研修会を開催する費用についても森林環境譲与税の一部を充当していくべきと考えるが、今後の有効な活用方法についてどのように考えているか。

岡田町長　県や関係機関と協議・連携しながら適正な森林整備のために有効活用していきたいと考えています。本町においても林野の産業振興が発展するものと期待をしています。生きた事業に繋げていくよう取り組んでいきます。

> ＳＤＧｓ（持続可能な開発目標）は、「誰一人取り残さない」持続可能でよりよい社会の実現を目指す世界共通の目標です。
> ２０３０年までに「海の豊かさを守ろう」等、17の項目を達成するために掲げた目標です。

高い意識が問われる

職員の意識改革

社会人としての基本的な姿勢

徹底した指導に努める／町長

問　職員の社会人としての基本的な挨拶や言葉遣いについて町民の声は不満の方が非常に多い。町長の姿勢が職員にも表れると思って、いま一度見直すべきではないか。

岡田町長　今指摘を受けましたことについて、非常に残念な思いです。このことを真摯に受け止め、庁内会議でも協議し、各課に持ち帰り徹底して指導するようにします。管理職全員もこのことをお聞きして肝に銘じているところです。

問　民間と比較すると役場は、職員一人一人がよほど高い意識をもっていなければ成長していける機会が少ない。管理職の昇級試験や企業研修を実施してはどうか。

岡田町長　市町村の行政が昇級試験を実施したという例はありませんので、これから勉強していきます。それも含めた民間との比較につきましては、このようなご指摘があったという認識をさせていただきたいと思っています。

依岡　一生 議員

保・小・中連携教育

家庭・学校・地域連携ネットワーク

放課後子ども教室を充実／教育長

問　保育所も統合になり、更なる連携教育が大事になってくると思われる。このような観点から次の3点を問う。
①学童保育（放課後児童クラブ）は今後取り組んでいく考えはないか。
②保・小・中の地域参観は行っているか。
③保・小・中連携教育はしっかりなされているのか。

濵﨑教育長　①学童保育は実施するつもりはありませんが、今の放課後子ども教室の充実を図り、時間延長をする考えはあります。放課後子ども教室は、旧宿毛高校大月分校体育館を改築し、移設する方向で考えています。
②地域の方々が学校の子どもたちを育て、学校を育てるコミュニティスクールの事業も順次進めていく考えです。
③教職員、保育士との連携を十分にとり、意識の向上を図り、大月町研究推進事業として「わが町の道徳」を継続してまいります。

隣接する小中学校

保育所と旧分校体育館

学童保育（厚生労働省）
- 共働き家庭など留守家庭の就学している児童を対象に、遊びや生活の場を提供し、健全な育成を図る。

放課後子ども教室（文部科学省）
- すべての子どもが対象で、安全な活動拠点（居場所）として地域住民と共に交流を図る。

まち・ひと・しごと総合戦略

成果と進捗状況は

十分ではないが強化を図る／町長

問　①農・林・水産・観光は、今後どのように取り組んでいくか。
②地産地消・地産外商の取り組みはどのように行っているか。
③安心安全な生活支援（障がい者の社会参加の促進）をどう考えているか。

岡田町長　①農業では、新規就農者と後継者支援、集落営農組織の立ち上げの推進、耕作放棄地の発生防止及び解消、地域に適した有望品目の導入、産地支援、専門機関の設立を目指します。林業では、経営基盤の強化を図り、林業体制の確立に向けて支援していく計画です。水産では、鮪養殖等の企業誘致の水産振興を続けていく考えです。観光は、幡多広域観光と連携して積極的に取り組みます。
②地産地消はふれあい市を核とし、地域食材利用を推進し、目標を定めて、集客の強化と売上の増加に取り組んでいます。地産地外商は大月町ふるさと振興公社を核とし、地場産品の流通体制の整備、強化、町内事業者と合同で積極的に取り組みます。
③安全安心な生活支援は、福祉事業のニーズを踏まえ、協力していきたいと考えています。

地産外商の拠点

こんにちは

大月で生きる

安岡（やすおか） 諄三郎（じゅんざぶろう） さん（74歳）

芝地区にお住いの安岡諄三郎さんを訪ねました。

歴史感じる家系

安岡家は元庄屋さん。諄三郎さんで12代目。さかのぼること395年（寛永2年）、江戸幕府将軍は三代目徳川家光の時代。初代安岡九郎兵衛さんが頭集村の庄屋役を受けた時から始まる由緒あるお家でした。

米作り一筋

諄三郎さんは男4人女4人姉弟の7番目。「年老いた父母を助けるため、米作りをしながら家を守った」と言っていました。

大庄屋であった安岡家でありましたが農地改革により、現在3反で「芝地区で農業をしているのは私一人になった」とつぶやいていました。

「大月町からは出たことがない。大月で生きてきた。今の家が建てたのは女房のおかげ」と笑っていました。

長い間、芝地区の氏子総代として令和2年9月29日に幡多神社総代会から功績をたたえられ、表彰状を貰ったそうです。その表彰状を見せていただきました。

「50年ほど連続で氏子総代をやりよる。芝地区がやめらしてくれんもん」と苦笑い。

その後、樹齢100年を超える柿の木の下で記念撮影して別れました。

頑張れ！諄三郎さん

（取材…安原明彦）

100年以上になる弘見柿の木

編集後記

昨年は世界中が新型コロナウイルスの影響を受け、心身ともに疲れがたまる生活を送ったことと推察致します。今年こそはこのコロナ禍が収束されることを願ってやみません。皆が思いやりの気持ちを持ち、力を合わせ乗り越えていきましょう。

議会も一致団結し、町民の皆様のために何ができるかを考え、取り組み、町政に訴えてまいります。

今年一年が皆様方にとりまして幸せな年でありますように。

（依岡一生）

議会広報常任委員会

委員長　山本　恒和
副委員長　浦木　秀雄
委員　依岡　一生
委員　安原　明彦
委員　中田　巖

発行／高知県大月町議会
編集／議会広報常任委員会

高知県幡多郡大月町弘見2230
TEL(0880)73-1682

印刷　有限会社　宿毛印刷